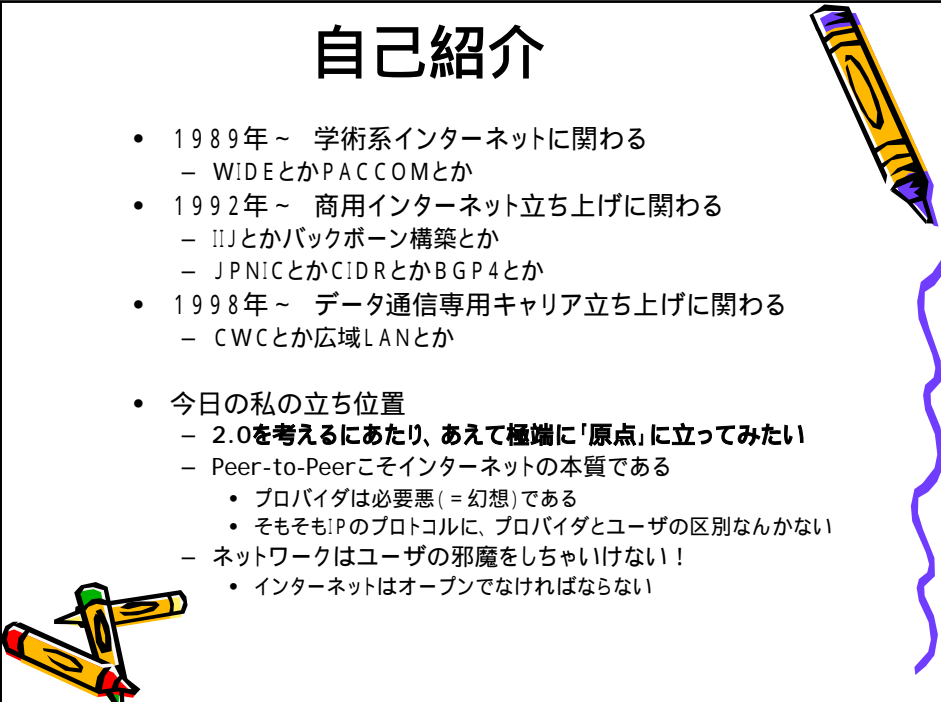


自己紹介

- 1989年～ 学術系インターネットに関わる
 - WIDEとかPACCOMとか
- 1992年～ 商用インターネット立ち上げに関わる
 - IJとかバックボーン構築とか
 - JPNICとかCIDRとかBGP4とか
- 1998年～ データ通信専用キャリア立ち上げに関わる
 - CWCとか広域LANとか
- 今日の私の立ち位置
 - 2.0を考えるにあたり、あえて極端に「原点」に立ってみたい
 - Peer-to-Peerこそインターネットの本質である
 - プロバイダは必要悪(=幻想)である
 - そもそもIPのプロトコルに、プロバイダとユーザの区別なんかない
 - ネットワークはユーザの邪魔をしちゃいけない!
 - インターネットはオープンでなければならない



Answers to the 5 Questions



1. Who is the stake-holder ? (誰がステークホルダーか?)
 - インターネットを動かす全ての人
 - インターネットに繋がる全てのCPUの提供者とそれを使う全ての人
 - インターネットに流すビット列を提供する全ての人
2. Who own the resource ? (リソースは誰のものか?)
 - インターネットの運営に何らかの形で貢献する全ての人
3. Who provide the resource ? (誰がリソースを提供するか?)
 - 何らかのリソースを持っておりそれを提供する事によりインターネットに貢献する人
 - もちろんその対価を金で貰ってもよい
4. How come up with globe ? (どのようにグローバルに展開するか?)
 - インターネットに国境はない
5. How maintain the possibilities for new services ? (サービスの可能性をどのように創造していくか?)
 - 可能な限りインターネットを「オープン」な状態に維持すべし
 - ネットワークはできる限り余計な事をしない。

